

政策番号	19	政策分野	生涯学習
------	----	------	------

基本方針	「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、京都ならではの「地域力」、「文化力」、「人間力」を結集し、まち全体を学びの場とすることで、子ども・若者から高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し、みずからを磨き高めて、社会を創造していけるまちづくりを進める。 また、次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むために、「子どもを共に育む京都市民憲章」の実践に向けた取組を市民ぐるみで推進する。
------	---

担当局	教育委員会	共管局	
-----	-------	-----	--

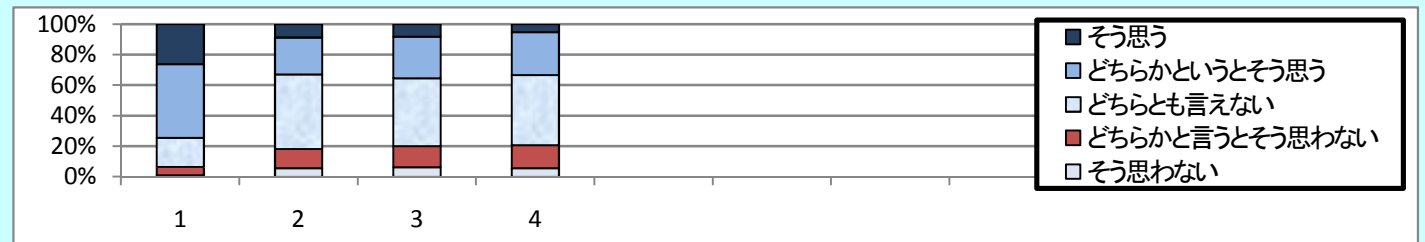
政策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	年 度	年 度	23年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）	2,290	3,000	-	-	1,986	2,290	2,000	114.5%	a
2	京都市図書館入館者数（万人）	431.5	450	-	-	430	431.5	432	99.9%	b
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価										a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		年度	年度	23年度
1	京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	-	-	a
2	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	-	-	c
3	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	-	-	c
4	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	-	-	c
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価				b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年度		年度		23年度	
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	-	-	21	10.4%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている	年度	-
	【客観指標】・生涯学習情報数は、企画の検討や関係団体・企業等への協力依頼を進めた結果、目標以上に増加し、a評価となった。 ・図書館入館者数は、図書返却ポストの地下鉄駅等への設置や、学校図書館と地域図書館の連携等を図るとともに、平成21年4月に「新・京都市子ども読書活動推進計画」を策定するなどした結果、堅調に増加したが、目標には届かず、b評価となった。 【市民の実感】・京都ならではの学習機会の豊富さについては、文化財や大学の集積といった京都の強みを反映して、かなり実感されている。その他の設問の多数回答は全て「どちらとも言えない」であり、生涯学習や子どもを市民ぐるみで育むことへの関心を高める余地がうかがわれる。 【総括】・客観指標が市民の実感を上回る結果となった。取組の広報等により、市民の実感につなげる余地がうかがわれる。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。	年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照 ページ
				23	
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充	-	-	A	207
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり	-	-	B	209
1903	子どもを共に育む気運づくり	-	-	B	211

<今後の方向性>

・京都市基本計画「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン」全体を本市生涯学習政策の基本指針として位置付け、各政策分野の施策を生涯学習の視点から融合しながら、総合的・体系的に推進するとともに、様々な生涯学習関連機関や企業・団体等とのネットワークを拡充させ、幅広い世代の市民だれもが生涯を通じて学び続けられ、その成果を社会に還元することができる仕組みの構築を目指していく。

・平成19年2月に「子どもを共に育む京都市民憲章」を策定し、平成23年4月に「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」を施行した。この条例の下、「憲章」の理念が市民生活の隅々にまで浸透し、家庭、地域、学校、企業など、社会のあらゆる場で実践行動が広がるよう目指していく。

政策名	19	生涯学習
-----	----	------

指標名	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）		
-----	--------------------------------------	--	--

担当部室	生涯学習部生涯学習推進担当	連絡先	251-0410
------	---------------	-----	----------

1 指標の説明

京都市のホームページ上で公開されている、「京まなびネット」「みやこ子ども土曜塾」等において登録されている講座・イベント等の情報数（企画数）

2 指標の意味

京都のまち全体が学びの場となることをめざして、その進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 2,290	平成32年度目標値 3,000	根拠 現況値（21年度）1,986の約1.5倍
------------------	--------------------	--------------------	----------------------------

	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	単年度目標値		
	数値	数値		根拠	達成度	
数値	1,986	2,290	304件増	2,000	平成32年度までに現在の企画数を1.5倍にするために、当該年度に達成すべき数値。	114.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	京都市図書館入館者数（万人）		
-----	----------------	--	--

担当部室	中央図書館	連絡先	802-3133
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市立図書館の利用者数

2 指標の意味

京都のまち全体が学びの場となることをめざして、市民に最も身近な学びの拠点である図書館の活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市立図書館20館での利用者数の合計
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 431.5	平成32年度目標値 450	根拠 現況値（21年度）430万人からの20万人増の450万人
------------------	--------------------	------------------	------------------------------------

	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	単年度目標値		
	数値	数値		根拠	達成度	
数値	430	431.5	1.5万人増	432	平成32年度までにの現況値から入館者数を20万人増すために毎年増加を目指す入館者数。	99.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	b